corega BAR HGWL

取扱説明書

ワイヤレス設定編

設定の準備とルーター機能については、『準備・ルーター設定編』をお読みください。

http://www.corega.co.jp/

PN J613-M7323-00 Rev.A 020906

はじめに

このたびは、「corega BAR HGWL」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品は、IEEE802.11b規格のワイヤレス（無線LAN）通信に対応しています。本書『corega BAR HGWL 取扱説明書 ワイヤレス設定編』は、本製品のワイヤレス機能を利用する場合に必要な設定や操作方法について解説しています。本製品ご使用にあたっての安全上の注意事項や添付品の確認、ワイヤレス関連以外の様々な機能の設定や操作方法、トラブルの解決方法などについては、別冊『準備・ルーター設定編』に記載されています。本書をお読みになる前に、必ず、『準備・ルーター設定編』をご覧ください。

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

●記号について

注意!	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。
メモ	補足事項や、参考となる情報を説明しています。

●表記について

本製品	corega BAR HGWL のことです。
「 」－「 」－「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。

●画面について

・ 本文中に記載の画面は、実際の画面と多少異なることがあります。

おことわり

・ 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・ 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2002 株式会社コレガ
corega は、株式会社コレガの登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
フレッツは、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。
2002 年 9 月 Rev.A 初版

作業の流れ

本書では、ワイヤレス（無線LAN）機能を利用する場合に必要な設定や操作方法についてのみ記載しています。下図を参考に、別冊の『準備・ルーター設定編』とあわせてご覧ください。

STEP1

まず準備が必要（『準備・ルーター設定編』P.10）

設定を始める前に、必ず『準備・ルーター設定編』をご覧になり、ご使用にあたっての安全上の注意事項をご確認ください。また、添付品の確認、ご使用環境の確認なども行ってください。また、本書の「STEP1　本製品のワイヤレス機能について」（P.4）もあわせてご覧ください。

STEP2

※STEP2については、必ず本書の手順で行ってください。

ネットワークに接続だ（無線接続の場合）（本書）

① パソコンのネットワーク設定
　使用するOSに対応した箇所をお読みください。
② パソコンと本製品の接続
③ 本製品の設定
④ インターネットへの接続
⑤ セキュリティーの設定
　無線LANを安心してご利用いただくために必要な設定を行います。

STEP3

トラブルや疑問があったら（『準備・ルーター設定編』P.41）

STEP2までの作業で、インターネットへの接続ができなかった場合や、本製品の操作でわからないことがあった場合には、『準備・ルーター設定編』の「STEP3 トラブルや疑問があったら」（P.41）をご覧ください。

STEP4

設定ユーティリティーを見てみよう（『準備・ルーター設定編』P.54）

本製品の設定の変更方法については、『準備・ルーター設定編』の「STEP4 設定ユーティリティーを見てみよう」（P.54）をご覧ください。なお、ワイヤレス機能については、本書の「付録　ワイヤレス機能の設定」（P.37）をご覧ください。

STEP5

こんなときにはこの設定（『準備・ルーター設定編』P.87）

『準備・ルーター設定編』の「STEP5 こんなときにはこの設定」（P.87）をご覧ください。

STEP6

製品仕様、保証と修理に関する説明など（『準備・ルーター設定編』P.90）

『準備・ルーター設定編』の「STEP6 付録」（P.90）をご覧ください。

目次

はじめに …… 1
本書の読み方 …… 1
おことわり …… 1
作業の流れ …… 2

STEP1　本製品のワイヤレス機能について …… 4

無線 LAN 環境のみで構成するネットワークの構築例 …… 4
無線 LAN 環境と有線 LAN 環境が混在したネットワークの構築例 …… 5
無線 LAN のセキュリティー対策について …… 5

STEP2　ネットワークに接続だ（無線接続の場合） …… 6

パソコンのネットワーク設定をしよう …… 6
Windows XP で利用しよう …… 6
Windows Me ／ 98 ／ 95 で利用しよう …… 9
Windows 2000 で利用しよう …… 13
Web ブラウザーの設定をしよう …… 17
パソコンと本製品を接続しよう …… 18
本製品を設置する場所について …… 18
縦置きスタンドの取り付け方 …… 18
添付の専用無線 LAN カードの取り付け方 …… 19
本製品の電源を入れるには …… 19
本製品にモデムを接続して電源を入れる …… 20
パソコンと本製品を接続する …… 21
本製品の設定をしよう …… 23
簡単に接続しよう …… 23
インターネットに接続してみよう …… 28
他のパソコンを接続する場合 …… 28
セキュリティーの設定をしよう …… 29
セキュリティーの設定について …… 29
ESSID を変更する …… 30
WEP を設定する …… 33

付録　ワイヤレス機能の設定 …… 37

ワイヤレス機能の設定方法 …… 37

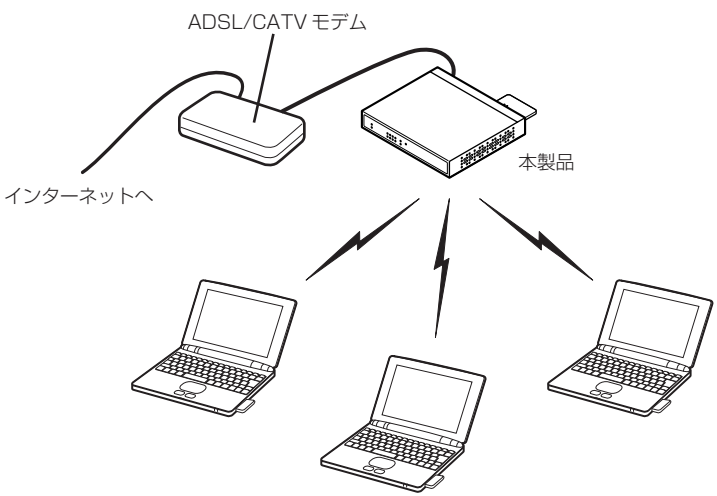
STEP1 本製品のワイヤレス機能について

本製品は、IEEE802.11b規格に対応したワイヤレス（無線LAN）通信のアクセスポイント機能を備えています。IEEE802.11b規格に対応した無線LANアダプターと組み合わせることで、下図のような無線LAN環境と有線LAN環境を統合したネットワークを構築することができます。

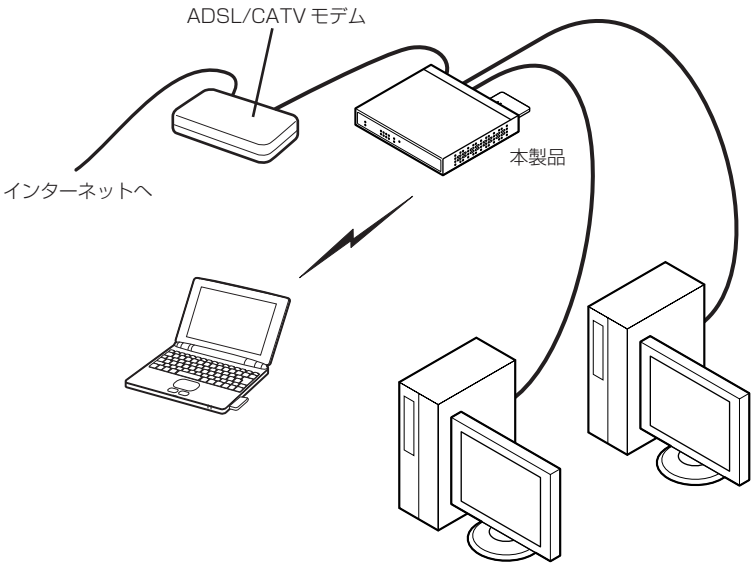
メモ　本製品は、各社の無線LAN機器との間で相互接続性を確保していますが、個別製品の接続可否については、お使いの機器の製造・販売元にお問い合わせください。また、コレガのホームページでは、本製品との接続が確認された動作検証表を公開していますので、あわせてご覧ください。

メモ　無線LANの通信モードには、「インフラストラクチャーモード（Infrastructure mode）」と「アドホックモード（AdHoc mode）」の２種類がありますが、下図のように本製品と組み合わせてネットワークを構築する場合には、「インフラストラクチャーモード」を使用します。

■無線LAN環境のみで構成するネットワークの構築例



■無線LAN環境と有線LAN環境が混在したネットワークの構築例



メモ　有線LAN環境を混在させる場合は、10BASE-T/100BASE-TX対応のネットワークアダプタが必要です。有線接続での本製品とパソコンの接続・設定方法については、別冊『準備・ルーター設定編』の「STEP2 ネットワークに接続だ（有線接続の場合）」（P.19）をご覧ください。

■無線LANのセキュリティー対策について

無線LANでは電波を使って通信を行うため、電波が届く範囲であれば、通信内容を傍受されたり、不正侵入されたりする恐れがあります。このようなことがないように、次のようなセキュリティー対策を行うことをおすすめします。設定方法など詳しくは、「セキュリティーの設定をしよう」（P.29）や「付録　ワイヤレス機能の設定」（P.37）を参照してください。

- **通信相手を識別、限定する**
  - ESSIDの設定を変更する
  - 「アクセス制限」を設定する
- **通信内容を暗号化する**
  - WEP（暗号キー）を設定する

メモ　本製品の工場出荷時の設定は、右表のとおりです。

項目	出荷時設定
ESSID	corega
アクセス制限	なし
WEP設定（暗号化）	OFF

パソコンのネットワーク設定をしよう

本製品を利用してインターネット接続ができるように、ご使用になるパソコンのネットワーク設定を行います。
次の内容を確認してください（確認と設定の方法は、OSの種類など、ご使用になるパソコンの環境により異なります）。

・無線LANアダプターの設定
・TCP/IPの設定

メモ
・複数のパソコンをインターネットに接続させる場合、すべてのパソコンでネットワーク設定を行う必要があります。なお、有線接続で接続するパソコンの設定方法については、『準備・ルーター設定編』の「STEP2　ネットワークに接続だ（有線接続の場合）」（P.19）を参照してください。
・作業を始める前に、お使いになるパソコンに無線LANアダプターを取り付けて、ドライバーや設定に必要なソフトウェア（ユーティリティーなど）のインストールを済ませておいてください。取り付け、設定方法については、お使いのパソコンや無線LANアダプターの取扱説明書を参照してください。

■ Windows XP で利用しよう

注意！ この作業は「コンピュータの管理者」または同等の権限をもつユーザー名でログオンして行ってください。ユーザー権限については、OSの取扱説明書を参照してください。

●無線LANアダプターの状態を確認する

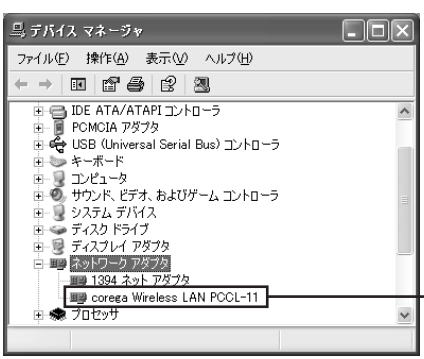
パソコンに取り付けられた無線LANアダプターが正常に動作しているか、デバイスマネージャなどで確かめます。

1 「スタート」−「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

2 「ハードウェア」タブを表示して「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

3 「デバイスマネージャ」画面の「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。

4 無線LANアダプターの名称が表示されていることを確認します。



無線LANアダプター
※実際に表示される名称は、ご使用になっている無線LANアダプターのメーカー、機種によって異なります。

注意! ×や！マークが表示されている場合、無線LANアダプターは正常に動作していません。無線LANアダプターのマニュアルをお読みになり、正常な状態にしてください。

● TCP/IP プロトコルを確認する

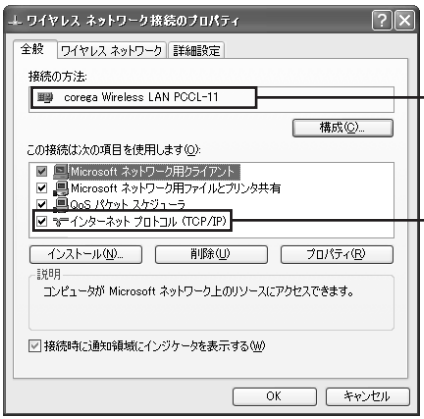
1 「スタート」−「コントロールパネル」をクリックします。

2 「コントロールパネル」にある「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。

3 「ネットワーク接続」アイコンをクリックします。

4 「ワイヤレス ネットワーク接続」を右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。

5 「全般」タブで「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が有効になっているか確認します。

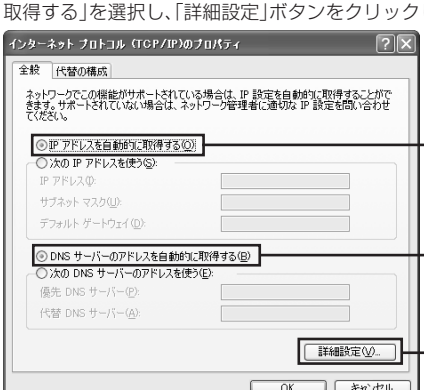


無線LANアダプター
※実際に表示される名称は、ご使用になっている無線LANアダプターのメーカー、機種によって異なります。

チェックマークが入っていることを確認してください。

6 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

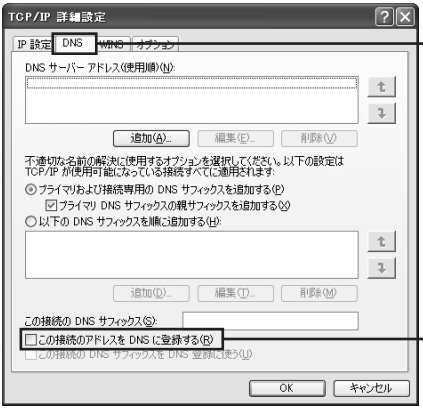
7 「全般」タブにある「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。



①この項目を選択します。

②クリックします。

8 「TCP/IP詳細設定」画面で「DNS」タブをクリックし、「この接続のアドレスをDNSに登録する」のチェックを外します。



①ここをクリックします。

②この項目のチェックマークを外します。

注意! **プロバイダーからドメイン名も指定されている場合**

「以下のDNSサフィックスを順に追加する」を選択し、「追加」ボタンをクリックして指定されたドメイン名を入力してください。

①この項目を選択します。

②「追加」ボタンをクリックして指定されたドメイン名を入力します。

※ DNS 設定例

9 「OK」ボタンをクリックします。

10 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面で、「OK」ボタンをクリックします。

11 「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面で、「閉じる」ボタンをクリックします。

12 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動します。

メモ　メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

13 次に「Webブラウザーの設定をしよう」(P.17)に進みます。

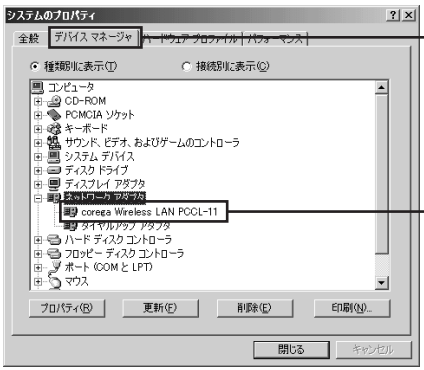
■ Windows Me ／ 98 ／ 95 で利用しよう

●無線 LAN アダプターの状態を確認する

パソコンに取り付けられた無線LANアダプターが正常に動作しているか、デバイスマネージャなどで確かめます。

1 デスクトップにある「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、表示されたハードウェアデバイスの一覧から「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。
無線LANアダプターの名称が表示されていることを確認します。



①ここをクリックします。

無線 LAN アダプター
※実際に表示される名称は、ご使用になっている無線LANアダプターのメーカー、機種によって異なります。

注意! ・×や!マークが表示されている場合、無線LANアダプターは正常に動作していません。無線LANアダプターのマニュアルをお読みになり、正常な状態にしてください。
・「Microsoft仮想プライベートネットワークアダプタ」「ダイヤルアップアダプタ」などのアダプタ名が表示されていることがありますが、これらは本製品で使用する無線LANアダプターと関係ありません。

●TCP/IP プロトコルを確認する

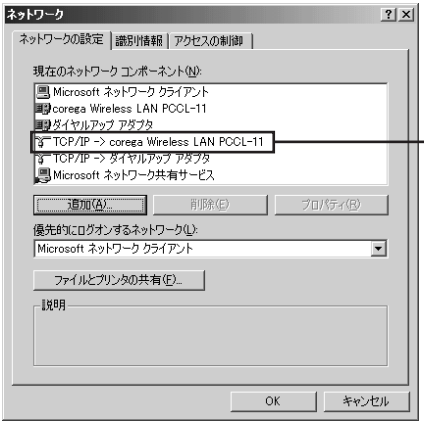
ここでは例として Windows Me を使用しています。Windows 98 ／ 95 をご使用の場合も手順は同様です。

1 「スタート」−「設定」−「コントロールパネル」をクリックします。

メモ Windows Meの場合、よく使うコントロールパネルのオプションだけが表示されているときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると、「ネットワーク」アイコンが表示されます。

2 「コントロールパネル」にある「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

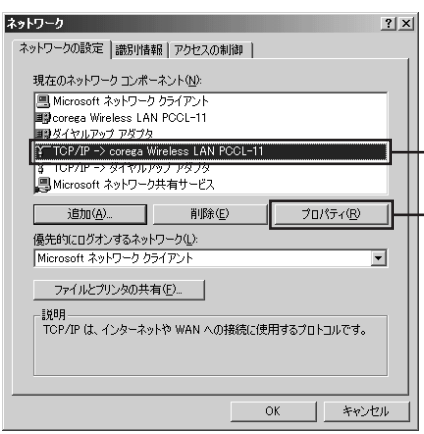
3 「ネットワークの設定」タブ内で「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP －> XXXXX（無線LANアダプター名）」が表示されていることを確認します。



※画面は例です。
・「TCP/IP －>」の横に表示される名称は、ご使用になっている無線LANアダプターのメーカー、機種によって異なります。
・ダイヤルアップアダプタがない場合は「インターネットプロトコル（TCP/IP）」、「TCP/IP」などと表示される場合もあります。

メモ 「TCP/IP －>XXXXX（無線LANアダプター名）」が表示されていなかった場合は、「TCP/IPをインストールする」（P.12）を参照してください。

4 「現在のネットワークコンポーネント」の一覧から「TCP/IP －>XXXXX（無線LANアダプター名）」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

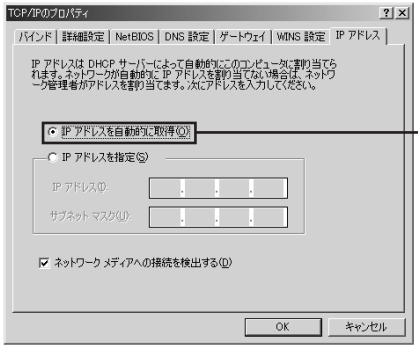


①ご使用の無線LANアダプター名が表示されているものを選択します。

②「プロパティ」ボタンをクリックします。

メモ 「TCP/IP －> XXXXX（無線LANアダプター名）」が複数表示されている場合は、ご使用になる無線LANアダプターの方を選択します。

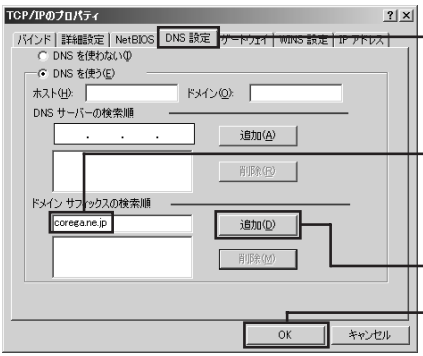
5 「IPアドレス」タブで「IPアドレスを自動的に取得」を選択します。



①この項目を選択します。

注意! **プロバイダーからドメイン名も指定されている場合**

「DNS設定」タブで「DNSを使う」を選択し、「ドメインサフィックスの検索順」の欄に指定されたドメイン名を入力して「追加」ボタンをクリックしてください。



①「DNS設定」タブをクリックします。

②ドメイン名を入力します。画面は例です。実際にはプロバイダーから指定されたドメイン名を入力してください。

③クリックします。

④クリックします。

※ DNS 設定例

6 「OK」ボタンをクリックします。

7 「ネットワーク」画面の、「OK」ボタンをクリックします。

メモ Windows の OS 用ディスクを入れるようにダイアログが表示された場合はドライブに Windows の OS 用ディスクを挿入し、メッセージにしたがって操作します。
再起動を促すメッセージが表示されたら再起動します。

8 次に「Webブラウザーの設定をしよう」(P.17)に進みます。

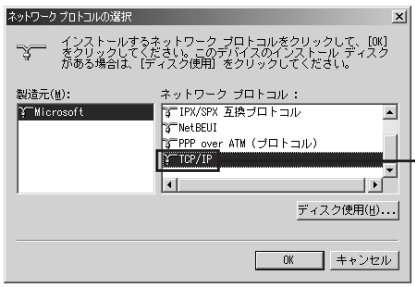
● TCP/IP をインストールする

TCP/IP がインストールされていなかった場合は、次の手順でインストールしてください。

1 「ネットワーク」の画面で、「追加」ボタンをクリックします。

2 「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面で「プロトコル」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。

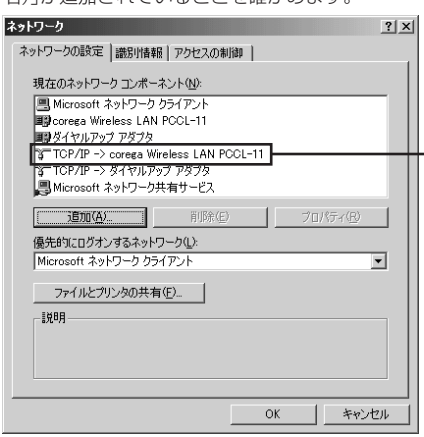
3 「ネットワークプロトコルの選択」画面の「製造元」で「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」の一覧から「TCP/IP」を選択します。



TCP/IP を選択します。

4 「OK」ボタンをクリックします。

5 「現在のネットワークコンポーネント」の一覧に「TCP/IP ー>XXXXX(無線LANアダプター名)」が追加されていることを確かめます。



※画面は例です。
- 「TCP/IP ー>」の横に表示される名称は、ご使用になっている無線LANアダプターのメーカー、機種によって異なります。
- ダイヤルアップアダプタがない場合は「インターネットプロトコル(TCP/IP)」、「TCP/IP」などと表示される場合もあります。

6 「OK」ボタンをクリックして「ネットワーク」画面を閉じると、再起動を促すメッセージが表示されますので、再起動します。

(メモ) メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

インストールが完了したら、「TCP/IP プロトコルを確認する」(P.9)の手順を行ってください。

■ Windows 2000 で利用しよう

注意! この作業は、「Administrator」または同等の権限を持つユーザー名でログインして行ってください。ユーザー権限については、OS の取扱説明書を参照してください。

●無線 LAN アダプターの状態を確認する

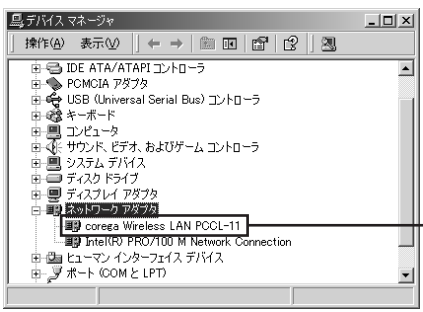
パソコンに取り付けられた無線LANアダプターが正常に動作しているか、デバイスマネージャなどで確かめます。

1 デスクトップにある「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

2 「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

3 一覧の「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。

4 無線LANアダプターの名称が表示されていることを確かめます。



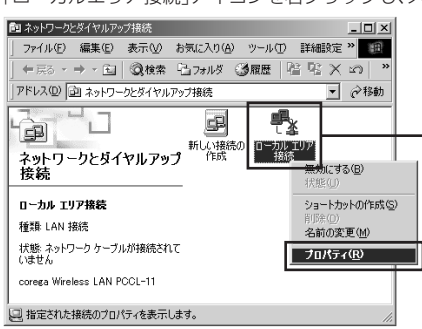
無線 LAN アダプター
※実際に表示される名称は、ご使用になっている無線LANアダプターのメーカー・機種によって異なります。

注意! ×や！マークが表示されている場合、無線LANアダプターは正常に動作していません。無線 LAN アダプターのマニュアルをお読みになり、正常な状態にしてください。

●TCP/IP プロトコルを確認する

1 「スタート」−「設定」−「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックします。

2 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

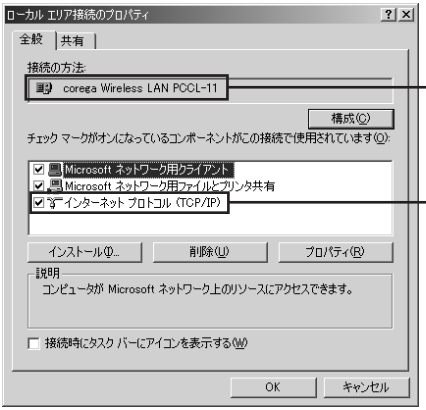


①「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックします。

②「プロパティ」をクリックします。

※「ローカルエリア接続」の名称はご使用のパソコンの環境により異なる場合があります。

3 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が有効になっていることを確認します。



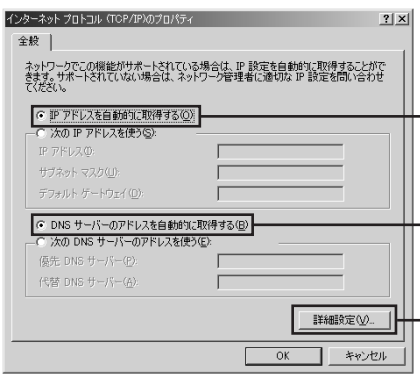
※実際に表示される名称は、ご使用になっている無線LANアダプターのメーカー・機種によって異なります。

チェックマークが入っていることを確認してください。

メモ 「インターネットプロトコル（TCP/IP)」が一覧にない場合は、「TCP/IP をインストールする」（P.16）を参照してください。

4 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

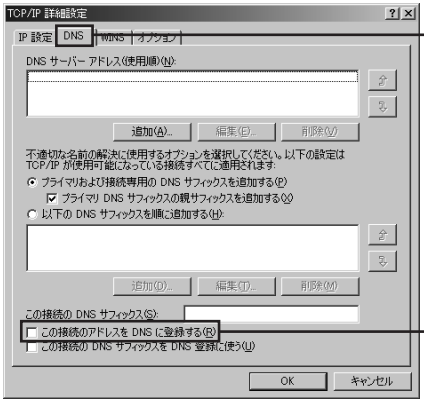
5 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。



①この項目を選択します。

②クリックします。

6 「TCP/IP 詳細設定」画面で「DNS」タブを選択し、「この接続のアドレスをDNS に登録する」のチェックを外します。

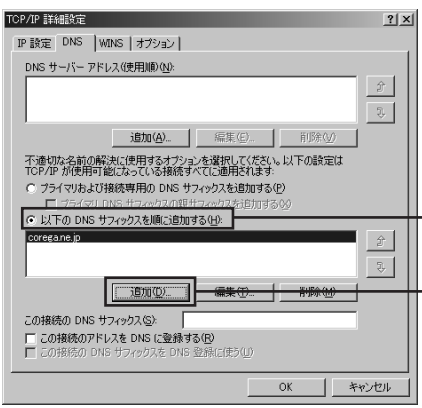


①ここをクリックします。

②この項目のチェックマークを外します。

注意! **プロバイダーからドメイン名も指定されている場合**

「以下のDNSサフィックスを順に追加する」を選択し、「追加」ボタンをクリックして指定されたドメイン名を入力してください。



①この項目を選択します。

②「追加」ボタンをクリックして指定されたドメイン名を入力してください。

7 「OK」ボタンをクリックします。

8 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「OK」ボタンをクリックします。

9 再起動を促すメッセージが表示された場合は再起動します。

メモ　メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

10 次に「Webブラウザーの設定をしよう」(P.17)に進みます。

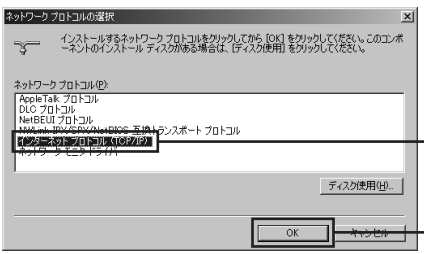
● TCP/IP をインストールする

TCP/IP がインストールされていなかった場合は、次の手順でインストールしてください。

1 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「インストール」ボタンをクリックします。

2 「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面が表示されたら「プロトコル」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。

3 「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されたら「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



①「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択します。

②「OK」ボタンをクリックします。

4 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が有効になっていることを確認します。

インストールが完了したら、「TCP/IP プロトコルを確認する」(P.13) の手順を行ってください。

Web ブラウザーの設定をしよう

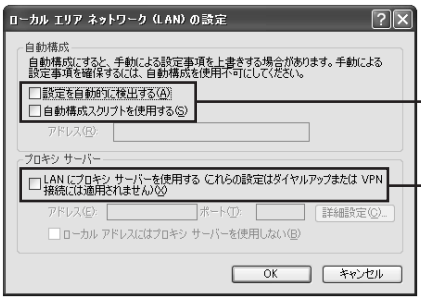
本製品を設定できるように、Web ブラウザーの設定を行います。ここでは、Internet Explorer 6.0 の場合の設定方法を例に説明しています。その他の Web ブラウザーの場合は、Web ブラウザーのヘルプなどを参照してください。

1 Internet Explorerを起動し、「ツール」−「インターネットオプション」をクリックします。

2 「インターネットオプション」画面が表示されたら「接続」タブをクリックします。

3 「LANの設定」ボタンをクリックします。

4 「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」画面で「設定を自動的に検出する」「自動構成スクリプトを使用する」「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックマークを外します。



この項目のチェックマークを外します。

5 「OK」ボタンをクリックします。

6 「インターネットオプション」画面で「OK」ボタンをクリックします。

7 次に「パソコンと本製品を接続しよう」(P.18)に進みます。

パソコンと本製品を接続しよう

■本製品を設置する場所について

別冊『準備・ルーター設定編』冒頭の「安全にお使いいただくために」をお読みになり、使用時の注意についてご確認ください。本製品の側面にある通気口は、放熱のため塞がないでください。本製品を安定させて設置する場所が見つからない場合は、添付の縦置きスタンドを本製品の側面に取り付けることで、本製品を立てて設置できます。

メモ　本製品のワイヤレス機能を利用して無線LANを構築する場合は、通信相手となる無線LANアダプターと本製品を、通信可能な距離の範囲内に設置してください。本製品の最大通信距離は、屋外で150m、屋内で50mですが、周辺の環境（障害物など）、通信相手となる無線LANアダプターの性能などによって、実際の通信可能距離は大きく変動します。

●設置に適した場所

・水平で落下の恐れがない場所（机の上など）
・風通しのよい涼しい場所

●設置に適さない場所

・直射日光が当たる場所
・暖房器具の近くなど
・高温多湿でホコリの多い場所
・パソコンやモデムなど、発熱する機器の上

●ゴム足の取り付け方

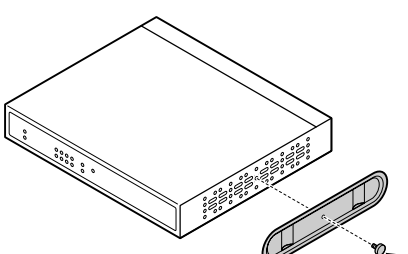
ゴム足は、シールをはがして本製品底面のゴム足取り付け穴に貼り付けてください。

■縦置きスタンドの取り付け方

本製品を縦置きで使用する場合は、添付の縦置きスタンドをご利用ください。

1　縦置きスタンドの穴にネジをはめ込みます。

2　本製品側面（左右どちらでも可）にある穴に縦置きスタンドのネジを合わせ、マイナスのドライバーを使用して固定します。

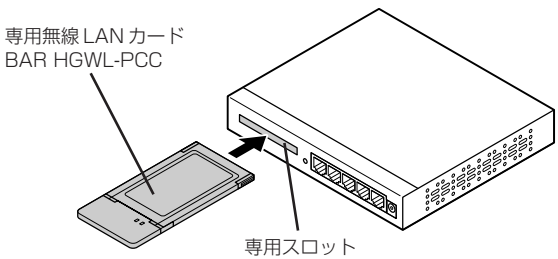


■添付の専用無線 LAN カードの取り付け方

本製品のワイヤレス機能を使用するには、以下の手順で、本製品背面の専用スロットに添付の専用無線 LAN カードを取り付ける必要があります。

注意! 専用無線 LAN カードの取り付けや取り外しは、必ず、電源が切れた状態（AC アダプターを電源コンセントから抜いた状態）で行ってください。

1 専用無線LANカード(BAR HGWL-PCC)を、ラベル面が上になる向きで本製品背面の専用スロットに挿入し、奥までしっかり差し込みます。



■本製品の電源を入れるには

●本製品の電源の取り方

本製品の電源は、たこ足配線などを避け、他の機器と別系統で取るようにしてください。必ず付属の専用ACアダプターを使用し、AC100Vの電源コンセントに接続してください。それ以外のACアダプターやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。

●本製品の電源の入れ方／切り方

本製品背面のDCジャックにACアダプターのDCプラグを接続し、ACプラグを電源コンセントに差し込むと電源が入ります。ACアダプターのACプラグを電源コンセントから抜くと電源が切れます。

注意!
- 本製品には電源スイッチがありません。ACプラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。
- ACアダプターのACプラグを電源コンセントに差し込んだままDCプラグを抜かないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。

■本製品にモデムを接続して電源を入れる

1 本製品、モデム、パソコンなどネットワーク接続する機器の電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。

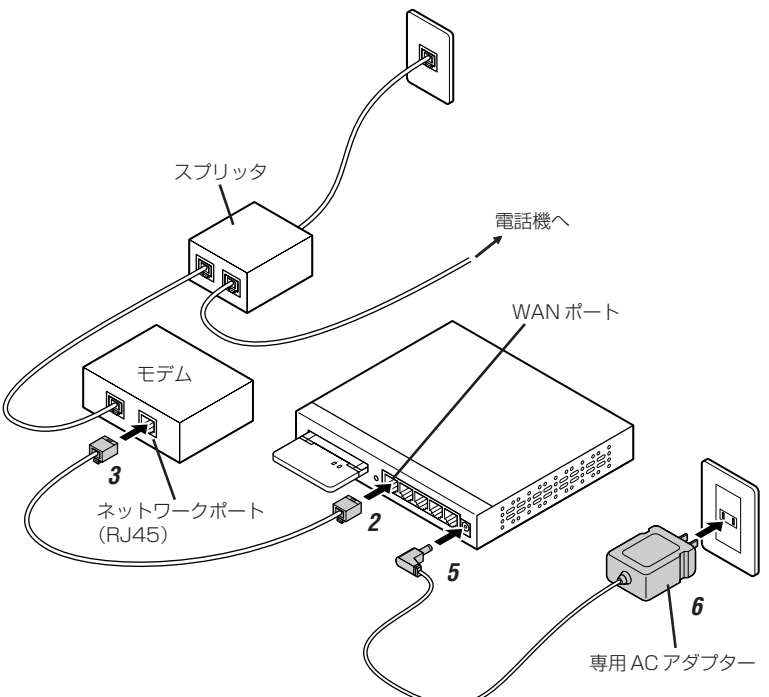
2 本製品背面のWAN ポートに添付のUTPケーブルを接続します。

3 モデムのネットワークポート(RJ45)にUTPケーブルのもう一方を接続します。

4 モデムの電源を入れます。

5 本製品背面のDCジャックに専用ACアダプターを接続します。

6 本製品のACアダプターをコンセントに接続し、本製品の電源を入れます。
本製品前面のStatus LEDが点滅します。



■パソコンと本製品を接続する

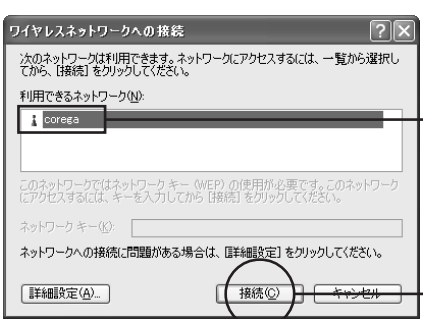
パソコンの電源を入れて、パソコンに取り付けた無線LANアダプターの設定を以下のように変更し、本製品とのワイヤレス接続を開始します。なお、設定方法は、お使いのOSのバージョンや無線LANアダプターによって異なります。

項目名	設定値	説明
通信モード	インフラストラクチャー（Infrastructure）モード	無線LANには、通信モードが２つあります。本製品を使ってインターネットに接続するときには、「インフラストラクチャー（Infrastructure）」モードにします。
ESSID	corega	無線ＬＡＮに接続する機器を識別する名前です。「SSID」と呼ばれることもあります。
チャンネル	6	使用する電波の周波数（無線チャンネル）です。
WEP（暗号化）	OFF	通信データを暗号化するための暗号キーです。

注意! 作業を始める前に、本製品と、無線LANアダプターを取り付けたパソコンが、通信可能な距離の範囲内に設置されていることを確認してください。電波の受信状態が悪いと、正しく設定を行えない場合があります。なお、本製品の最大通信距離は、屋外で150m、屋内で50mです。

●無線LANの設定のしかた（Windows XPの場合）

Windows XPでは、多くの場合、本製品からの電波が受信できるようになった時点で自動的にESSIDが検索され、必要な設定が行われるので、「ワイヤレスネットワークへの接続」画面で「corega」を選択して「接続」をクリックするだけで、本製品と接続できます。ただし、お使いになる無線LANアダプターによっては、設定用ソフトウェアなどによる設定が必要な場合もあります。詳しくは、無線LANアダプターの取扱説明書を参照してください。

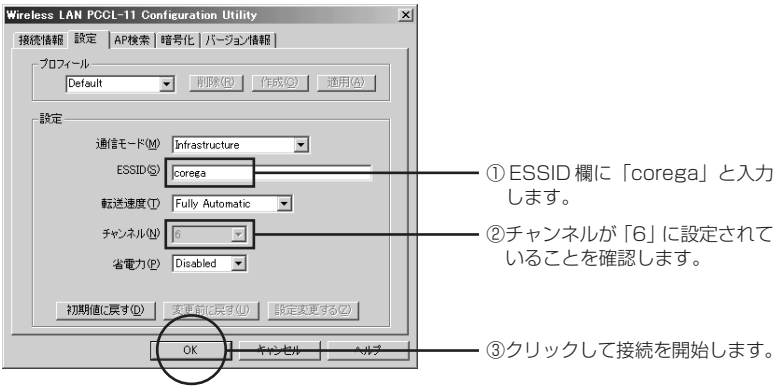


①現在接続可能な相手（ESSID）が表示されるので、「corega」を選んでクリックします。

②クリックして接続を開始します。

●無線LANの設定のしかた（Windows Me/98/95/2000の場合）

お使いの無線LANアダプターによって、設定方法は異なります。無線LANアダプターの取扱説明書を参照して、ESSIDやチャンネルなどを設定してください。



※上図は、コレガ製無線LANアダプター「Wireless LAN PCCL-11」での設定画面の例です。設定のしかたは、お使いの製品によって異なります。

●うまく接続できない場合は

ここまでの設定でうまく接続ができない場合は、次の点を確認してください。

- ESSID やチャンネル、WEP などは正しく設定したか？
- 本製品背面の「専用無線LANカード」は正しく取り付けられているか？（正しく取り付けられていれば、専用無線LANカード上面の Power LED が緑色に点灯しています）
- 本製品と、通信相手となるパソコンは、通信可能な距離に設置されているか？

詳しくは、別冊『準備・ルーター設定編』の「STEP3　トラブルや疑問があったら」を参照してください。また、お使いの無線LANアダプターの取扱説明書も参照してください。

本製品の設定をしよう

パソコンから本製品を使ってインターネットに接続できるように本製品の設定を行います。本製品の設定はWebブラウザーで行います。本製品に接続されているパソコンのうち、1台から設定作業を行ってください。Webブラウザーには Internet Explorer 5.0 以降、または Netscape Navigator 4.7 以降をご利用ください。これ以外の Web ブラウザーでは、正常にセットアップが行えません。

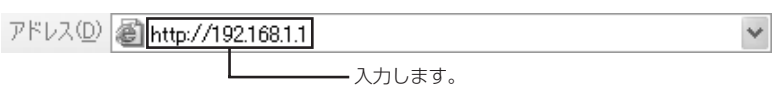
■簡単に接続しよう

インターネットに接続できるように最小限の設定をします。インターネットへの接続方式はご契約されたプロバイダーによって異なります。別冊『準備・ルーター設定編』のP.12のチェック3でメモした情報を準備してください。

注意! 設定用パソコンでウイルス駆除ソフト、ファイアーウォールソフトなどのセキュリティーソフトが稼働していると、本製品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティーソフトを停止させて本製品の設定を行い、設定作業が終了してから再度稼働させてください。セキュリティーソフトの停止、稼働の方法は、セキュリティーソフトの取扱説明書を参照してください。

1 本製品に接続したパソコンで、Internet ExplorerなどのWebブラウザーを起動します。

2 Webブラウザーのアドレス入力欄に「http://192.168.1.1」と入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。



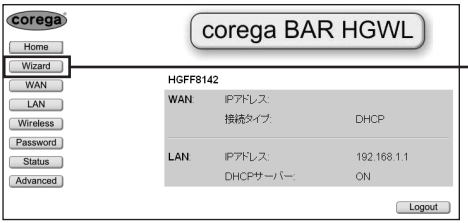
3 ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、ユーザー名の欄に「root」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。

※上の画面はWindows XPのものですが、他のOSでも手順は同じです。

メモ
- 工場出荷時の状態では、ユーザー名は「root」に設定されています。パスワードは設定されていません。
- ユーザー名、パスワードは変更できます。変更方法は、別冊『準備・ルーター設定編』の「STEP3 トラブルや疑問があったら」を参照してください。

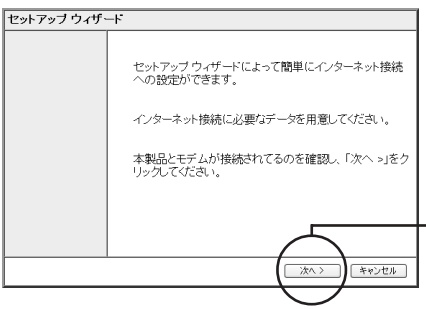
4 設定ユーティリティーが起動します。

5 設定ユーティリティーの左側にある「Wizard」ボタンをクリックします。



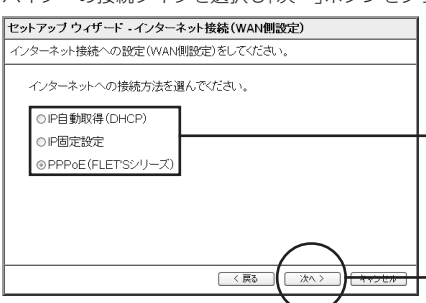
「Wizard」ボタンをクリックします。

6 「セットアップウィザード」が表示されたら、「次へ>」ボタンをクリックします。



「次へ」ボタンをクリックします。

7 「セットアップウィザード-インターネット接続(WAN側設定)」が表示されたら、ご契約のプロバイダーの接続タイプを選択し「次へ」ボタンをクリックします。



①ご契約のプロバイダーの接続タイプをクリックします。

②「次へ」 ボタンをクリックします。

次頁を参考に、該当する接続タイプを選択してください。

● **IP 自動取得（DHCP）－ CATV 等（本ページ）**
プロバイダーからIPアドレスが特に指定されていない場合に選択します。DHCP機能を利用して、IPアドレスが自動的に割り当てられます。

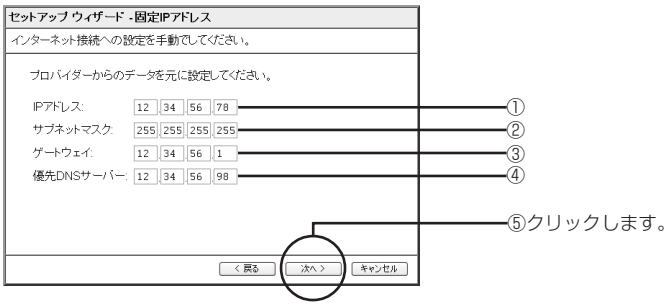
● **IP 固定設定－固定 IP サービス等（本ページ）**
プロバイダーから固定IPアドレスを取得している場合に選択します。

● **PPPoE（FLET'S シリーズ）－フレッツ ADSL、B フレッツ等（P.26）**
PPPoEと呼ばれる接続手順を使ってインターネットに接続する場合に選択します。プロバイダーよりユーザー名とパスワードが割り当てられます。本製品ではプロバイダーの情報を設定ユーティリティーに登録すると、プロバイダーから配布される「フレッツ接続ツール」などを使用せずに自動的にインターネットに接続できます。

8 接続タイプに応じて「セットアップウィザード」の各項目を設定します。次の接続タイプごとの説明を参考に、設定を行ってください。

● **「IP 自動取得（DHCP）」の場合**
「IP自動取得（DHCP）」を選択した場合は、「セットアップウィザード」で設定する項目はありません。
P.26の操作9に進んでください。

● **「IP 固定設定」の設定項目**
この画面は、下の表の入力例を使用した場合の例です。実際にはご使用の環境に合った値を設定してください。

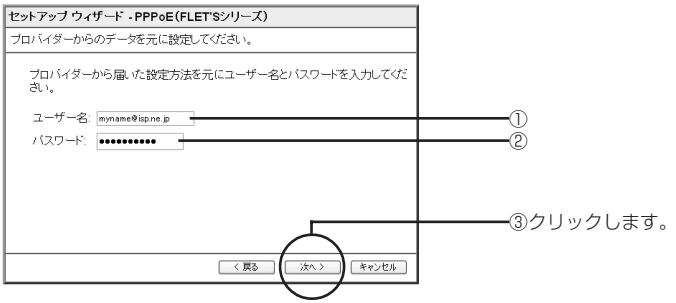


項目名	入力例	説明
①IP アドレス	12.34.56.78	プロバイダーから指定された IP アドレスを入力します。
②サブネットマスク	255.255.255.255	プロバイダーから指定されたサブネットマスクを入力します。
③ゲートウェイアドレス	12.34.56.1	プロバイダーから指定されたゲートウェイの IP アドレスを入力します。
④優先 DNS サーバー	12.34.56.98	ローカルに DNS サーバーを設置する場合、またはプロバイダーから DNS アドレスを提供されている場合に入力します。

設定が終わったら「次へ」ボタンをクリックします。

● 「PPPoE（FLET'S シリーズ）」の場合

この画面は、下の表の入力例を使用した場合の例です。実際にはご使用の環境に合った値を設定してください。



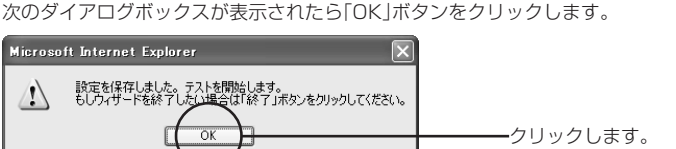
項目名	入力例	説明
①ユーザー名	myname@isp.ne.jp	プロバイダーより指定されたユーザー名※を入力します。
②パスワード	Password02	プロバイダーより指定されたパスワード※を入力します。画面上では「＊」または「●」で表示されます。

※ プロバイダーによって呼び方が異なる場合があります。

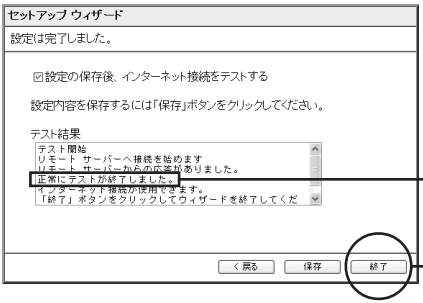
設定が終わったら、「次へ」ボタンをクリックします。

9 次の画面が表示されたら、「設定の保存後、インターネット接続をテストする」にチェックマークを入れて、「保存」ボタンをクリックします。

10 次のダイアログボックスが表示されたら「OK」ボタンをクリックします。



11 しばらくすると、テスト結果が表示されるので確認して「終了」ボタンをクリックします。パソコン、モデムと本製品の設定、接続に問題がなければ、テスト結果の欄に「正常にテストが終了しました。」と表示されます。



①ここを確認します。問題がなければ、このように表示されます。

②「終了」ボタンをクリックします。

メモ 「正常にテストが終了しました。」と表示されなかった場合は、下記の「テストに失敗したときは」を参照して対処してください。

12 操作4の画面に戻ったら「Logout」ボタンをクリックして設定ユーティリティーを終了します。

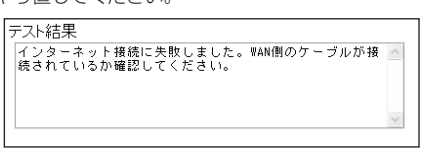
「Logout」ボタンをクリックします。

これで、本製品の基本的な設定は終わりです。

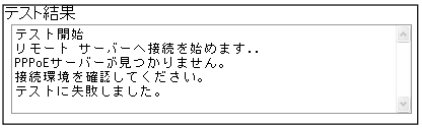
メモ その他の設定項目については、別冊『準備・ルーター設定編』の「STEP4 設定ユーティリティーを見てみよう」を、本製品のより高度な使用方法については、同じく「STEP5 こんなときにはこの設定」を、それぞれご覧ください。

●テストに失敗したときは

テスト終了後、次のような画面が表示されたときは、メッセージの内容を確認して、再度、ウィザードをやり直してください。



この画面が表示されたときは、WANポートのUTPケーブルが正しく接続されていない可能性があります。接続を確認してください。



この画面が表示されたときは、次のような原因が考えられます。

・ユーザー名かパスワードの入力を間違えている
プロバイダーからの契約書類などを確認して、正しく入力してください。

・モデムと回線とが正しく接続されていない。
モデムとスプリッタ、スプリッタとモジュラーコンセントなどが正しく接続されているか、確認してください。

インターネットに接続してみよう

パソコンと設定ユーティリティーの設定が終わったら、インターネットに接続できるか確認します。

1 本製品に接続したパソコンで、Internet ExplorerなどのWebブラウザーを起動します。

2 Webブラウザーのアドレス入力欄にコレガのホームページアドレス「http://www.corega.co.jp/」を入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。

3 ホームページが表示されます。

注意! ご契約のプロバイダーによっては、設定後、インターネットに接続できるようになるまでに、時間がかかる場合があります。詳しくは、ご契約のプロバイダーにお問い合せください。

もし、インターネットにつながらなかった場合は、別冊『準備・ルーター設定編』の「STEP3 トラブルや疑問があったら」(P.41)をご覧ください。

■他のパソコンを接続する場合

本製品に接続したいパソコンが他にもある場合は、「パソコンのネットワーク設定をしよう」(P.6)、「Webブラウザーの設定をしよう」(P.17)、「パソコンと本製品を接続する」(P.21)を参照し、同じ手順でパソコンの設定を行ってください。また、有線接続(UTPケーブル)で接続する場合は、別冊『準備・ルーター設定編』の「STEP2 ネットワークに接続だ(有線接続の場合)」(P.19)を参照してください。

セキュリティーの設定をしよう

無線LANでは電波を使って通信を行うため、電波が届く範囲であれば、外部から通信を傍受されたり、ネットワークへ不正侵入されたりする恐れがあります。ここでは、無線LANを安心してご利用いただくために、本製品のセキュリティー機能の設定を行います。

■セキュリティーの設定について

本製品では、次のようなセキュリティー機能を用意しています。

●通信相手を識別するためのESSID(Extended Service Set IDentifier)

無線LANに接続する機器を識別する名前です。SSIDと呼ばれることもあります。同じESSIDを持つ無線LAN機器同士でしか通信できないため、第三者から想像されにくいESSIDを設定することにより、外部から不正侵入される危険が減少します。設定方法については、この後の「ESSIDを変更する」(P.30)を参照してください。
なお、本製品の工場出荷時は「corega」に設定されています。

●通信内容を暗号化するWEP(Wired Equivalent Privacy)

WEPキーは、通信内容(データ)を保護するための暗号です。WEPによって通信内容を暗号化すると、仮に通信データを傍受された場合でも、通信内容の復元を容易に行うことができなくなります。本製品は、「64 Bit WEP」と「128 Bit WEP」の両方式に対応しています。

・「64 Bit WEP」半角英数字で5文字(16進数で10桁)までの暗号キーを利用可能
・「128 Bit WEP」半角英数字で13文字(16進数で26桁)までの暗号キーを利用可能

より長くて複雑な暗号キーを設定することができる「128 Bit WEP」を利用する方が安全性が高くなります。また、定期的に暗号キーを変更することで、より安全性が高まります。設定方法については、この後の「WEPを設定する」(P.33)を参照してください。
なお、本製品の工場出荷時は、WEPは設定されていません(「OFF」に設定されています)。

注意! 本製品にWEPを設定した場合、本製品に接続するすべてのパソコンにWEP機能対応の無線LANアダプターを取り付けて、本製品に設定したのと同じWEP暗号キーを設定する必要があります。お使いの無線LANアダプターがWEP機能に対応しているかどうか、取扱説明書でご確認ください。

●その他のセキュリティー対策

・LANアクセス制限(無線)

本製品の「PCデータベース」を利用して、無線LANへのアクセスを許可するパソコンを指定する機能です。指定されていないパソコンからは無線LANに接続できなくなります。設定方法については、「付録　ワイヤレス機能の設定」(P.37)を参照してください。また、PCデータベースについては、別冊『準備・ルーター設定編』の「STEP4　設定ユーティリティーを見てみよう」を参照してください。
なお、本製品の工場出荷時は、アクセス制限は設定されていません(すべての無線クライアントからアクセス可能になっています)。

・本製品のパスワードを変更する

不正に無線LANに侵入した第三者によって本製品の設定を変更されたり、設定されている内容を閲覧されたりしないように、本製品のパスワードを設定しておくことをおすすめします。設定方法については、別冊『準備・ルーター設定編』の「STEP3　トラブルや疑問があったら」を参照してください。

■ESSIDを変更する

本製品の設定ユーティリティーを使って、ESSIDを変更します。新たに設定したESSIDは、無線LANに接続するすべてのパソコン（無線LANアダプター）にも設定する必要があります。設定した内容を忘れないように、作業を始める前に、下の記入欄に新しいESSIDを正確にメモしておくことをおすすめします。

新しいESSID　：

メモ
- ESSIDは、最大32文字までの、半角英数文字および半角記号の組み合わせで作成します（大文字と小文字の区別はありません）。
- 使用できる半角記号は、次のとおりです。

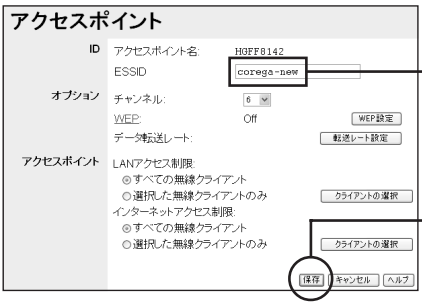
! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ { ¦ } ~

1 本製品に接続したパソコンのWebブラウザーで「http://192.168.1.1」を開き、本製品の設定ユーティリティーを起動します。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、ユーザー名に「root」と入力して、「OK」ボタンをクリックします。

2 「Wireless」をクリックします。

「Wireless」ボタンをクリックします。

3 「ESSID」の入力欄に、新しいESSIDを入力して、「保存」ボタンをクリックします。



①新しいESSIDを入力します。

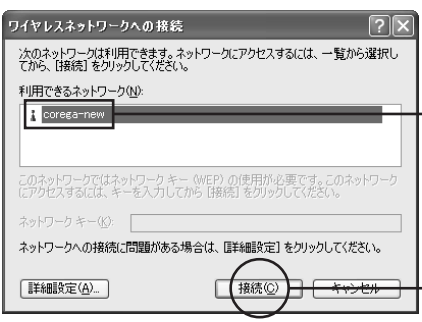
②「保存」ボタンをクリックします。

4 Webブラウザーを終了します。

これで、本製品のESSIDが変更されました。設定に使用したパソコンを含めて、一時的に、無線接続しているすべてのパソコンからネットワークへの接続ができなくなります。ネットワークに接続するためには、同じESSIDを無線接続しているすべてのパソコン（無線LANアダプター）に設定します。

●パソコン側のESSIDを変更する（Windows XPの場合）

Windows XPでは、多くの場合、本製品のESSIDを変更すると自動的に新しいESSIDが検索されます。ただし、お使いになる無線LANアダプターによっては、設定用ソフトウェアなどによる設定が必要な場合もあります。詳しくは、無線LANアダプターの取扱説明書を参照してください。

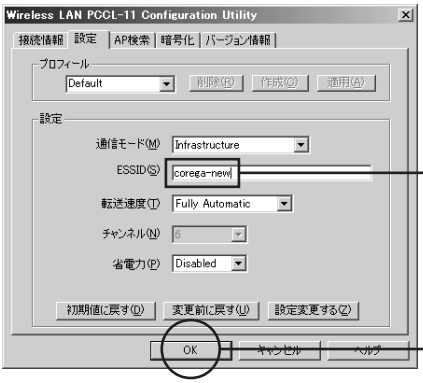


①本製品に設定した新しいESSIDを選んでクリックします。

②クリックして接続を開始します。

●パソコン側のESSIDを変更する（Windows Me/98/95/2000の場合）

お使いの無線LANアダプターによって、設定方法は異なります。無線LANアダプターの取扱説明書を参照して、ESSIDを設定してください。



①本製品に設定した新しいESSIDを入力します。

②クリックして接続を開始します。

※上図は、コレガ製無線LANアダプター「Wireless LAN PCCL-11」での設定画面の例です。設定のしかたは、お使いの製品によって異なります。

■ WEP を設定する

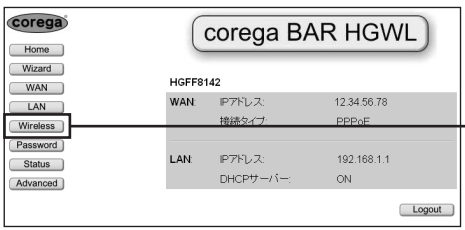
本製品の設定ユーティリティーを使って、WEP の設定を行います。本製品に設定した WEP キー（暗号キー）は、無線 LAN に接続するすべてのパソコン（無線 LAN アダプター）にも設定する必要があります。設定した内容を忘れないように、作業を始める前に、下の記入欄に設定しようとする WEP キーを正確にメモしておくことをおすすめします。

WEPキー（64 Bit WEPの場合）	
WEPキー（128 Bit WEPの場合）	

メモ
- WEPキー（暗号キー）は、「64 Bit WEP」を設定する場合は5文字、「128 Bit WEP」を設定する場合は 13 文字の、半角英数字を指定します（大文字と小文字の区別はありません）。
- 指定する文字数に過不足がないように注意してください。文字数が少ないと、たとえば「128 Bit WEP」のキーを作成するときに 12 文字しか指定しなかった場合などは、暗号キーが正しく生成されず、正常に接続できなくなる可能性があります。

1 本製品に接続したパソコンのWebブラウザーで「http://192.168.1.1」を開き、本製品の設定ユーティリティーを起動します。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、ユーザー名に「root」と入力して、「OK」ボタンをクリックします。

2 「Wireless」をクリックします。

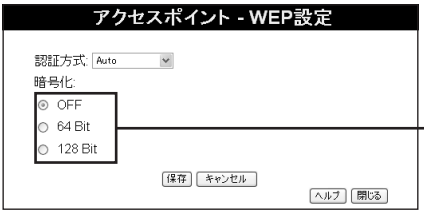


「Wireless」ボタンをクリックします。

3 「WEP設定」ボタンをクリックします。

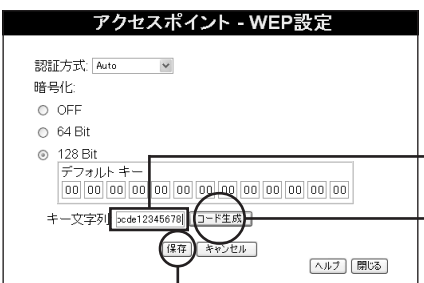
「WEP 設定」ボタンをクリックします。

4 「64 Bit」または「128 Bit」をクリックします。



5 「キー文字列」の入力欄に、前ページで用意した「WEPキー」を入力し、「コード生成」ボタンをクリックします。

注意! Windows XP をお使いの場合は、設定する暗号キーを、2 桁の 16 進数で、入力欄に直接入力してください。設定方法について詳しくは、「付録　ワイヤレス機能の設定」「「WEP設定」画面」（P.38）を参照してください。



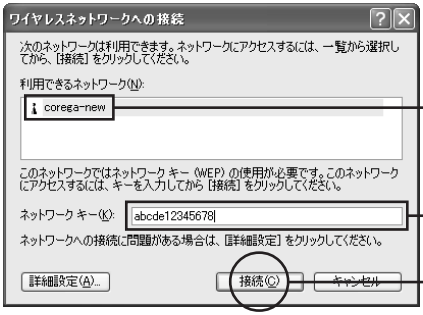
6 「保存」ボタンをクリックします。

7 Webブラウザーを終了します。

これで、本製品に WEP が設定されました。設定に使用したパソコンを含めて、一時的に、無線接続しているすべてのパソコンからネットワークへの接続ができなくなります。ネットワークに接続するためには、本製品に設定した WEP を無線接続しているすべてのパソコン（無線 LAN アダプター）に設定します。

●パソコン側で WEP を設定する（Windows XP の場合）

Windows XPでは、多くの場合、「ワイヤレスネットワークへの接続」画面で「ネットワーク キー」の入力欄にWEPキーを直接入力して、「接続」ボタンをクリックすることでWEPの設定は完了し、無線LANに接続できます。ただし、ご利用のネットワーク環境やお使いになる無線LANアダプターによっては、設定用ソフトウェアなどによる手動設定が必要な場合もあります。詳しくは、無線LANアダプターの取扱説明書を参照してください。



①接続先のESSIDを選んでクリックします。

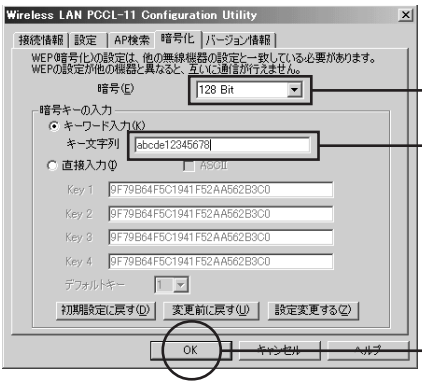
②本製品に設定した WEP キーを正確に入力します。

③クリックして接続を開始します。

2

●パソコン側で WEP を設定する（Windows Me/98/95/2000 の場合）

お使いの無線LANアダプターによって、設定方法は異なります。無線LANアダプターの取扱説明書を参照して、本製品に設定したのと同じ WEP キーを設定してください。



①「64 Bit」または「128 Bit」を選択します。

②本製品に設定したのと同じWEPキーを正確に入力します。

③クリックして接続を開始します。

※上図は、コレガ製無線LANアダプター「Wireless LAN PCCL-11」での設定画面の例です。設定のしかたは、お使いの製品によって異なります。

● WEP を設定した後で、無線 LAN に接続できなくなったら・・・

本製品に設定したWEPキーを、正確にパソコン（無線LANアダプター）側にも入力したかどうか、再度確認してください。設定用ソフトウェアを使って手動設定している場合は、無線 LAN アダプターの取扱説明書を参照して、設定内容を確認してください。
どうしても接続できない場合や、本製品に設定した WEP キーを忘れてしまった場合などは、次のいずれかの方法で対処してください。

・有線接続（UTP ケーブルで接続）しているパソコンがあるとき
有線接続しているパソコンからは、WEPの設定にかかわらず本製品の設定ユーティリティーを起動することができます。このパソコンを使って WEP の設定をいったん「OFF」に変更して、再度設定し直してください。

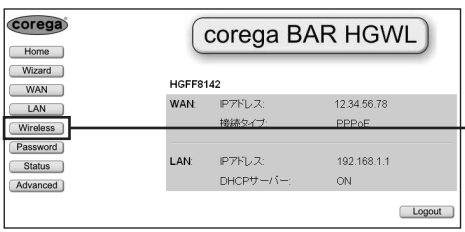
・すべてのパソコンを無線接続しているとき
本製品の設定ユーティリティーを開くことができないので、WEPの設定を変更することができません。本製品背面の「Init スイッチ」を使って、本製品のすべての設定を工場出荷時の状態に戻してください。ただし、工場出荷時の状態に戻すと、本製品にこれまで設定した情報（「セットアップウィザード」で設定したインターネット接続の設定など）がすべて消えてしまいますので、ご了承ください。「Initスイッチ」を使って本製品を工場出荷時の状態に戻す方法については、別冊『準備・ルーター設定編』の「STEP3　トラブルや疑問があったら」を参照してください。

付録　ワイヤレス機能の設定

ここでは、本製品の設定ユーティリティーを使って行うワイヤレス機能の設定について説明しています。ワイヤレス機能以外の設定方法については、別冊『準備・ルーター設定編』の「STEP4 設定ユーティリティーを見てみよう」を参照してください。

■ワイヤレス機能の設定方法

ワイヤレス機能の設定を始めるには、設定ユーティリティーの「Home」画面（起動時の画面）のメニューから、「Wireless」ボタンをクリックしてください。

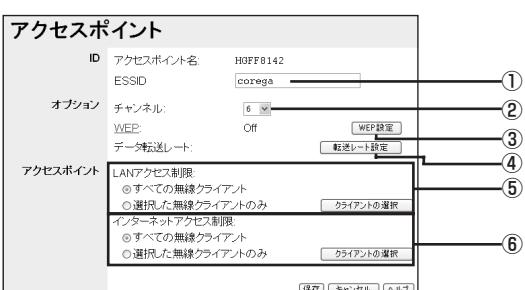


「Wireless」ボタンをクリックします。

メモ　各設定画面には、「ヘルプ」ボタンがあります。設定内容について詳しくは、ヘルプを参照してください。

●Wireless（アクセスポイント）　～ワイヤレス機能を設定する～

次の画面で各項目の設定を行います。設定を変更したら、「保存」ボタンをクリックします。クリックすると、その時点で変更内容が本製品に反映されるので、無線接続しているパソコンは一時的にネットワークに接続できなくなります。本製品の変更内容に合わせて、パソコン側でも設定を変更してください。



項目名	説明
① ESSID	無線 LAN に接続する機器を識別する名前です。設定方法について詳しくは、「セキュリティーの設定をしよう」（P.29）を参照してください。 ※工場出荷時は「corega」に設定されています。

項目名	説明
②チャンネル	使用する電波の周波数（無線チャンネル）で、1～14の14種類の中から設定できます。周辺の電波と混信するような場合に変更してみてください。なお、無線LANに接続するすべての機器に、同じチャンネルを設定する必要があります。 ※工場出荷時は「6」になっています。
③WEP	無線LAN上でやりとりされる通信内容を暗号化します。設定する場合は、「WEP設定」ボタンをクリックします（本ページ）。 ※工場出荷時は「OFF」に設定されています。
④データ転送レート	本製品と無線LANアダプターの間でのデータ転送レートを設定します。「転送レート設定」画面で、「自動」を選択すると、本製品と無線LANアダプターとの間で転送レートを自動調整します。「固定レート」を選択した場合は、希望する転送レートを選択してください。 ※工場出荷時は「自動」になっています。通常はこの設定のまま使用してください。
⑤LANアクセス制限	無線LANへのアクセスを制限します。設定する場合は、「選択した無線クライアントのみ」を選んでから、「クライアントの選択」ボタンをクリックします（P.39）。 ※ 工場出荷時は「すべての無線クライアント」になっています（アクセス制限は設定されていません）。
⑥インターネットアクセス制限	無線LANに接続しているパソコンのうち、インターネットへの接続を許可するパソコンを限定します。設定する場合は、「選択した無線クライアントのみ」を選択してから、「クライアントの選択」ボタンをクリックします（P.40）。 ※ 工場出荷時は「すべての無線クライアント」になっています（アクセス制限は設定されていません）。

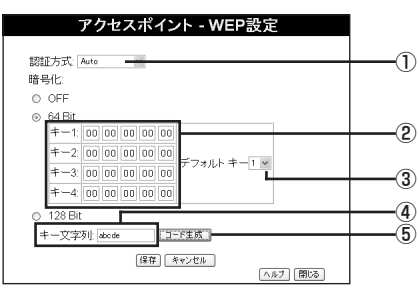
・「WEP設定」画面

本製品に「64 Bit WEP」または「128 Bit WEP」を設定します。設定方法について、詳しくは「セキュリティーの設定をしよう」（P.29）を参照してください。

1 設定ユーティリティーのメニューから「Wireless」をクリックします。

2 「アクセスポイント」画面の「WEP設定」ボタンをクリックします。

3 「アクセスポイント － WEP設定」画面で「64 Bit」または「128 Bit」をクリックします。



※上の画面は「64 Bit」をクリックしたときの画面表示例です。

項目名	説明
①認証方式	「Auto」「SharedKey」「OpenSystem」の中から、ご利用の環境に適したものを選びます。通常は、工場出荷時の「Auto」の設定のままにします。
②暗号キー	キー１～キー４のそれぞれについて、操作３で「64 Bit」を選ぶと５個、「128 Bit」を選ぶと 13 個の入力欄が表示されます。設定する暗号キーを2桁の16進数で入力してください。④と⑤で「キー文字列」を入力して「コード生成」することで、自動的に入力することもできます。
③デフォルトキー	キー１～キー４のうち、実際にどの暗号キーを使用するかを選びます。
④キー文字列	ここに入力した文字列から、WEP で使用される暗号キーが生成されます。操作３で「64 Bit」を選んだときは５文字、「128 Bit」を選んだときは 13 文字の、半角英数字を入力します（大文字と小文字の区別はありません）。なお、②で直接数値を入力する場合、この欄への入力は不要です。
⑤コード生成	クリックすると、④で入力した文字列をもとに、暗号コードを生成します。

4 「保存」をクリックします。

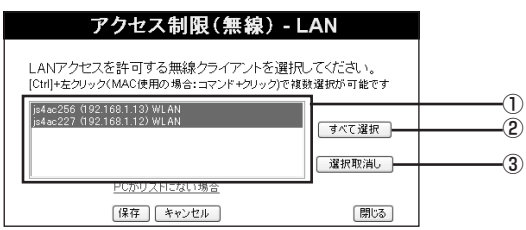
注意! 「保存」をクリックすると、その時点で変更内容が本製品に反映されて、無線接続しているすべてのパソコンが一時的にネットワークに接続できなくなります。設定後は、必ず、無線接続するすべてのパソコンに同じ設定を行ってください。

・「アクセス制限（無線）－ LAN」画面

無線 LAN アクセス制限を設定します。

1 設定ユーティリティーのメニューから「Wireless」をクリックします。

2 「アクセスポイント」画面の「LANアクセス制限」の下の「選択した無線クライアントのみ」を選び、「クライアントの選択」ボタンをクリックします。



項目名	説明
①クライアントリスト	本製品に接続しているすべての無線クライアントが自動的に表示されます。ここで選択した（反転表示になった）クライアントのみに対して、無線 LAN への接続が許可されます。アクセスを制限したいクライアントは選択を外します（反転表示を解除します）。
②すべて選択	リストにあるすべての無線クライアントを一括選択します。
③選択取り消し	リスト上の選択（反転表示）を一括解除します。

メモ　アクセス制限をしたいクライアントが表示されていない場合は、「PC データベース」で手動で追加してください。詳しくは別冊『準備・ルーター設定編』の「STEP4 設定ユーティリティを見てみよう」を参照してください。

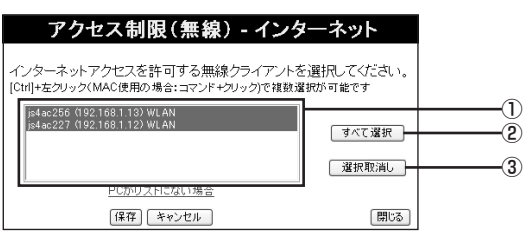
3　「保存」をクリックして、設定した内容を反映させます。

・「アクセス制限（無線）－インターネット」画面

本製品経由でのインターネット接続を許可するパソコンをあらかじめ指定します。

1　設定ユーティリティーのメニューから「Wireless」をクリックします。

2　「アクセスポイント」画面の「インターネットアクセス制限」の下の「選択した無線クライアントのみ」を選び、「クライアントの選択」ボタンをクリックします。



項目名	説明
①クライアントリスト	本製品に接続しているすべての無線クライアントが自動的に表示されます。ここで選択した（反転表示になった）クライアントのみに対して、本製品経由でのインターネット接続が許可されます。アクセスを制限したいクライアントは選択を外します（反転表示を解除します）。
②すべて選択	リストにあるすべての無線クライアントを一括選択します。
③選択取り消し	リスト上の選択（反転表示）を一括解除します。

メモ　アクセス制限をしたいクライアントが表示されていない場合は、「PC データベース」で手動で追加してください。詳しくは別冊『準備・ルーター設定編』の「STEP4 設定ユーティリティを見てみよう」を参照してください。

3　「保存」をクリックして、設定した内容を反映させます。